

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム かなえ

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者は研修を受講し理解しているが職員全員の理解までは至らず、職員の理解と、利用者家族に説明出来る体制目指していく。	日常生活自立支援事業や成年後見制度の資料やパンフレットを用意し、研修受講者による内部研修を実施し、職員全員が理解し、利用者、家族に説明し、理解してもらい、制度の活用に繋げていく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化や終末期二に向けた方針を、現在、利用者や家族には、口頭で説明しているが、今後方針を文書化し、説明し、承諾をいただく。	看取りの指針を作成し、利用者や家族に説明し、理解してもらい、承諾書を作成し、終末期の体制を明確化し、関係者全員で、共有していく。	6ヶ月
3	37	災害対策	消防署指導による避難訓練を実施しているが、定期的な訓練までは出来ていない。地域住民の協力を得て、夜間想定避難訓練を実施する。	年2回の避難訓練の実施と、地域住民の協力を得て、夜間を想定した避難訓練の実施を、運営推進会議の委員にお願いして、協力者を募っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。